

特定非営利活動法人

日本小児循環器学会 理事会 (2015.8-2017.7)

## 2015年度第3回理事会 議事録

日時：2016年3月19日(土) 17:00~20:00

場所：仙台戦災復興記念館 4F 第4会議室

【理事会構成員】理事総数20名、出席理事19名

理事長：安河内聡

副理事長：角秀秋

理事：市川肇、市田路子、岩本眞理、小山耕太郎、賀藤均(欠席・委任状あり)、鎌田政博、坂本喜三郎、白石公、鈴木孝明、住友直方、土井庄三郎、富田英、野村裕一、檜垣高史、朴仁三、三谷義英、山岸敬幸、山岸正明

監事：佐地勉(欠席)、佐野俊二(欠席)、中西敏雄

庶務：深澤隆治、藤原優子(欠席)

【議事の経過の概要および議決の結果】

### 1. 開会

定刻に安河内理事長が議長となり、定款第27条2項の定足数を満たしている旨の報告がなされ、本理事会の開会が宣言された。続いて議長から議事録署名人として坂本喜三郎理事、白石公理事が指名され、全会一致で承認された。

### 2. 報告事項：

#### <持ち回り理事会報告>

(第5号議案)医療安全セミナーの開催方法について

小川会長から医療安全セミナーを第52回日本小児循環器学会総会・学術集會会期中に2回開催したいとの提案があった。出席確認をどのようにするかが討議され、参加証にしるしをつけるなどの方法で不正を防止することが検討された。最終的には専門医制度委員会で対応を決めてもらい、学術集會側が履行することとなった。

#### <委員会報告>

1) 総務委員会：富田委員長

1. 財務について(山岸(敬)理事)

税務申告をすることが決定されている。収益事業は赤字なので7万円以外に納税の必要はない見込みだが、納税を開始するに当たり、過去5年間さかのぼって申告しない

といけない。7万円を5年間分、加えて税務手続きについて手数料54万の計89万円が必要となる。

- 全会一致で承認された。

学会の展示が収益事業となる。税務監査のために、展示会場の面積割合と従事した人の従事割合を算出して事務局へ報告しておく必要がある。第52回学術集会からはそれを算出するようにする。

#### 2. 学会事務契約について（富田理事）

2016年4月末で国際文献社と事務契約更新を行う。

#### 3. 会費納入状況について（富田理事）

会費未納者の報告があり、未納者リストが提示された。3月中にもう一度振り込み状を送付する。3年以上未納者は3月までに納入しないと4月から除名とする。

#### 4. 関連学会協議会・他学会委員の人事について（富田理事）

関連学会協議会・他学会委員の人事について資料の通り報告がされた。

### 2) 学術委員会：小山委員長

#### 1. 海外関連学会における発表者推薦・決定状況（学術委員会）

投票の結果、AEPC-JSPCCS Joint Sessionの推薦者が資料のように選定された。

また、AEPC-YIAは羽山陽介先生（国循）、狭川浩規先生（滋賀大学）、林泰佑先生（成育）が推薦された。

#### 2. 学会賞について（顕彰委員会）

高尾賞は現時点でまだ応募がない。

YIA・CRA・宮田賞はYIA2編、CRA2編の応募有、和文のYIAを2015年度学会誌発表論文のうち、9編から選考予定。

#### 3. 学術集会プログラムについて（小川会長）

760題の応募があり、シンポジウム等加えると900題近い演題数となる。

査読の際に倫理的な面をチェックするようにした。45題が倫理的問題ありとして指摘されたが、多くは小児の適応外使用に関してで、倫理委員会委員長の掛江先生と協議した結果、今回は問題なしと結論し、変更できるものは査読レベルまたは発表時に対応することとなった。今後議論していくこととなった。

海外招聘は外科系5名、内科系10名である。AEPCから3名、AHA-CVDYから3名推薦

を受け招聘した。AHA からの 1 名が規定の 3000 ドルを超える要求があったため断った経緯がある。AHA-CVDY の Business Meeting でもう一度規定の確認をしてほしい。アジアからは 2 名（台湾とタイ）招聘する。

#### 4. 海外留学の推薦

中川直美先生（広島市立広島市民病院）から申請があり推薦した。

#### 5. 研究委員会制度の見直し

学術委員会の 3 人の副委員長と委員長で素案を作り提示する。

### 3) 専門医制度委員会：土井委員長

#### 1. 専門医制度委員会進捗状況

専門医試験の結果についての報告があった。また資料のような試験内容の見直しが報告された。また、更新審査についての進捗状況が報告された。

#### 2. 新専門医制度について

まだサブスペシャリティ領域に関しては進展がないが、指導医に関してはそろそろ準備を始めないといけない。4-5 月に委員会を開いて対応を考えていく。

#### 3. 試験委員会進捗状況（試験委員会：山岸（敬）委員長）

資料の通り第 7 期試験問題作成が進行していることが報告された。

### 4) 移植委員会：市川理事

#### 1. 小児心臓・肺移植患者 全国アンケート調査（白石理事）

アンケートについてはまとめて学会時に福嶋先生からご報告頂く予定となっている。

#### 2. 小児心臓移植施設認定基準について（市川理事）

症例が少ないので、認定施設を増やすのはどうかという意見もあるが、北と南に施設がないので、全国的にはもう少し増やすことが妥当と考える。

#### 3. Berlin Heart の現状について（市川理事）

ICUS というドライバーが全国に 14 台（1 台 3500 万円）しかない。ドライバーのバックアップが 3 人に 1 台必要なことを考えると、もう現状以上には装着できないこととなり、問題となっている。国からの財政援助がないとやっていけない。

成育、静岡、つくば、女子医、愛媛、埼玉の新たな施設が今年認められたが、購入できていない。各施設で最低 2 台そろえないといけない点が資金的にネックとなっている。

➤ 現状のデータをそろえて、学会として国・厚労省に訴えることが承認された。

#### 4. 重症心不全コンサルタント窓口の設置について（市川理事）

東大の進藤先生が中心となり、重症心不全が発症した際に早期にメール審議してもらい

基幹施設で治療するシステムである。全会員にメール配信し、告知する。

5) データベース委員会：三谷委員長

資料の通り報告がされた。

6) 保険診療・臨床試験委員会：三浦委員長

1. レミケード川崎病市販後調査に関する契約について

田辺三菱製薬と小児循環器学会、小児リウマチ学会、日本川崎病学会が契約し、E-Learning を受講後にレミケードを処方できるようになることが報告された。

7) 利益相反委員会：野村委員長 8

今回の学会から演題登録時における COI 申告を導入する。

問い合わせがあったときにメール会議で申請の必要の有無を討議し、判断している。

COI の自己申告をしてもらったが、封筒未開封のまま預かるのみであり、内容の確認 (COI 有無の確認) まで行わない運用になっている。今後どのように対応するかは検討中である。

問い合わせがまとまってきたら、Q&A の形で学会 HP に公表できるようにしていきたい。

8) 学会雑誌編集委員会：白石委員長

資料に基づき活動報告があった。

ニュースレターのカラー印刷はもう一年様子を見てから判断したいが、予算が許す限りカラー印刷で発刊したい。

50 周年記念誌は電子書籍として HP 掲載する。

## <学術集会報告>

1) 第 53 回学術集会報告：坂本会長

2017 年 7 月 7 日 (金) ~7 月 9 日 (日) 浜松市のアクトシティ浜松にて開催されることが報告された。同時に日中韓の 3 か国フォーラムも開催されることになる。

学会が主体となるプログラム委員会が主体となり、5-6 月ごろからプログラム委員会は動き始めたい。若い医師主体のプログラムも作りたい。

## <その他の報告>

1) 要望書について：市田理事

成人先天性心疾患横断的検討委員会設置について (市田理事)

「成人先天性心疾患の横断的検討委員会」の設置を日本循環器学会に提案し、一昨日の理事会で了承された。学術委員会の成人先天性心疾患委員会の拡大委員会として活動していく。小循、日循、心臓病学会、成人先天性心疾患学会のほかに、心臓血管外科学会と産婦人科学会が入ることが望ましいとされた。心エコー図学会と胸部外科学会も入ることが検討されている。日循で4月からの小児循環器学会代表の人選があり三谷理事が就任した。

1. 小径体外循環カニューレに関する要望書について（坂本理事）  
提出が報告された。
2. エポプロステノールに関する要望書について（安河内理事長）  
提出の書面準備を進めている旨、報告された。

### 3. 承認事項：

#### 1) 医療安全委員会：鈴木委員長

1. 外部機関からの要請に対する医療安全委員会内規（案）  
前回の理事会にて問題となった弁護士については、委員会審議で入れることとなった。  
▶ 特に議論はなく全会一致で原案通り承認された。
2. 経費についての確認事項（案）について  
他学会の医療安全委員会の資料を参考にして作成しているので、費用としては相場と揃えている。  
▶ 全会一致で原案通り承認された。

### 4. 審議事項：

#### 1) 総務委員会：富田委員長

1. Web site 改定について  
国際文献社よりトップページの素案(赤メイン・青メイン)が2通り提示されている。  
▶ 多数決により赤のトップページを採択することが決定された。
2. 定款改定について  
会員資格の限定にかかわる定款改定である。入会資格を限定するか、議決権を限定するか、いずれにせよ限定するしっかりとした理由がないといけない。以下の2案が提示された。  
案① 法人の目的からすると医療従事者でない方が入会して議決権を持つと会の運営に支障をきたす、または 案② 議決権を限定しても会の実情は変わらない、という2案のどちらかを選択して東京都に申請を行いたい。  
案②では会員になるのは制限しないが、準会員を設けて議決権を制限している。正会員、

準会員をどう定義するか、看護師の扱いをどうするのか、議論を行った。正会員を「医師」と「医師以外」に分けることもでき、案②では議決権は正会員に限定することができる。東京都に認められなければ次案を出すこともできるが、そのたびに総会の承認が必要となる。

▶ 案①から「その他」を除いた案と、案②の決議が行われ、案②が賛成多数により採択された。案②をもう少し検討してから総会に諮ることになった。正会員、準会員の規定は引き続き検討していく。

## 2) 学術委員会：小山委員長

### 1. 功労賞について（顕彰委員会）

顕彰委員会全会一致で内科系は中澤誠先生を、外科系は安井久喬先生を推薦したい。

▶ 全会一致で承認された。

### 2. AHA との短期交換留学契約について（国際交流委員会）

メール審議で了解されている。留学生への補助金については AHA とのプログラムでは \$500 までと規定されているが、AEPC への派遣者には 20 万円を支給しているため、JSPCCS 側としては同額とする。4 月 1 日から契約となる。8 月 31 日までに募集し、9 月 30 日までに決定する予定。

▶ 全会一致で承認された。

### 3. 教育セミナーについて（教育委員会：鎌田委員長）

現在、小児循環器学会で行っている動画配信を、分科会で行っている動画配信もリンクする、分科会の教育的講演に対して動画撮影の予算を少し援助するなどして、視聴できるようにしたいと提案があった。配信は現在依頼しているエムプラスに引き続きお願いしたい。ネットへのアップロードは 1 ギガ（約 30 分）までは無料。クレジットの問題、個人情報はどうするかなどの議論があったが、今後の課題とし、分科会作成の動画も学会の動画配信ページにて配信できるよう協力を依頼したいと提案がされた。

▶ 運用上の規約を整えることを前提に、全会一致で方向性について承認された。

## 3) データベース委員会：三谷委員長

### 1) 小児疾患患者の臨床情報登録の推進を目指す研究事業について

必要なニーズをまとめると社保関係の必要な情報がすぐに出てこないことをはじめ、様々な申請をするにあたり、基本的なデータが出てこない。各疾患の発生頻度、診断状況、治療状況、治療後の経過・転帰などのデータベースを構築し、治験の促

進や小児慢性事業などに役立てていく。この計画案を持って、厚労省に説明に行く。できれば AMED で資金援助を期待したい。既存のデータベースと重複しないように配慮する。

この案を厚労省にだしてよいかどうか議論された。短期的にやること長期的にやることを整理したほうがよい。厚労省により小児慢性事業が整備されたが、それでもカバーされない患者さんがおり、その実態を検証することが大切ではないかなど意見が提案された。

- 本案を厚労省に送付することが全会一致で承認された。

#### 4) 臨床試験委員会：三浦委員長

- ・学会による治験促進について

資料に基づき、臨床試験委員会の治験推進活動の取り決めが説明された。

また、治験推進を目的とした小児肺高血圧患者の実態調査の中間報告がなされた。

治験を促進するための意見が交わされた。

- 学会として秘密保持契約を整備し、治験推進を進めていくことが確認された。

#### 5) その他

安河内理事長から理事の選任に関して以下の提案がなされた。

- ① 立候補された中から理事を選出すること
- ② 20名の理事の内訳で、選挙理事の枠をふやすこと
- ③ 推薦理事も立候補の中から選ぶこと。

提案に対し、以下の意見があった。

- ・地域制を考慮することも大切である
  - ・推薦枠を減らす中で地域性を担保できるか
  - ・選挙の枠の中で地域制（日循方式）を決めるのがよいか
  - ・理事を評議員から選出するのであれば、選挙権のある評議員の資格をどうするか
  - ・評議員を選挙で選ばないなら、評議員の選出基準をしっかりと決めないといけない
  - ・理事選を整備してから評議員選出の改革をするのか
- 引き続き審議を継続していくこととなった。

5. 閉会：

以上をもって本日の議事を終了し、議長から議事への協力に謝辞があり、閉会した。

以上の議事の経過および結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長並びに議事録署名人がこれに押印する。

2016年3月19日

議 長                      安河内 聰

議事録署名人              坂本 喜三郎

議事録署名人              白石 公

(以下余白)